

急成長を始めたモバイル医療サービス市場

株式会社クララオンライン
コンサルティングチーム

<要約と結論>

中国でインターネットを使った様々な医療サービスが注目を集めている。当初はインターネットを使った診察予約や単なるヘルスケア情報の提供が中心だったが、モバイルインターネットの普及やクラウドコンピューティングの発展、モノのインターネットの拡大などにより、今では自宅でインターネットを通じて医師の診察を受けたり、スマートフォンのアプリで電子カルテを共有したり、体調管理サービスを利用したりと様々なサービスが登場している。

特にモバイル端末を使った医療サービス市場は急拡大しており、スマートフォンの普及に伴って投資額も爆発的に増加。大手 IT 企業や保険会社が大病院とタッグを組んで続々と参入しており、その知名度と信頼性の高さを武器に利用者を獲得している。また医療従事者専用の SNS や医療情報アプリも登場し、ビッグデータの活用も始まっている。3年後にはモバイルからのサービス利用が PC を上回る見通しで、市場規模は現在の4倍以上になるとの予測もある。

モバイル医療サービスを利用するのは若者が中心で、医療環境が十分に整っていない地方都市や農村部での利用が多い傾向がみられる。インターネットサービスならではの利便性の良さや費用の安さが好まれているが、これは病院の診察に対する不満の裏返しでもある。モバイル医療サービスを利用する若者は、まずアプリで症状について情報収集をし、場合によってはオンライン上で医師に相談したり、あるいはビデオ通話で診察を受け、最後に処方してもらった薬品をショッピングサイトで購入する。診察や処方の記録は電子カルテとしてアプリ内に保存されており、服薬時間になれば自動的に通知が届くという一連の流れができています。病院に行くまでもない家庭向けの医療情報やヘルスケアに関する知識もアプリから学ぶことができ、地方の保健医療水準の引き上げにも大きな貢献を果たしている。

スマートフォンの利用者は地方都市や農村部を中心に引き続きゆるやかに増加するとみられ、モバイル医療サービスに対する認知もさらに高まるだろう。まだビジネスモデルの模索が続いているが、利用者のサービスに対する関心は高く、十分な成長の余地があると期待される。

1. 中国のモバイル医療サービスとは

モバイル端末を利用した医療サービスは、中国でスマートフォンが本格的に普及し始めた 2013 年頃に登場し、現在は数多くの医療機関が参入する注目市場となっている。中国語では一般的に「移动医疗(移動医療)」と呼ばれ、スマートフォンやタブレットを通じて医療および健康に関する情報とサービスを提供するものを指す。

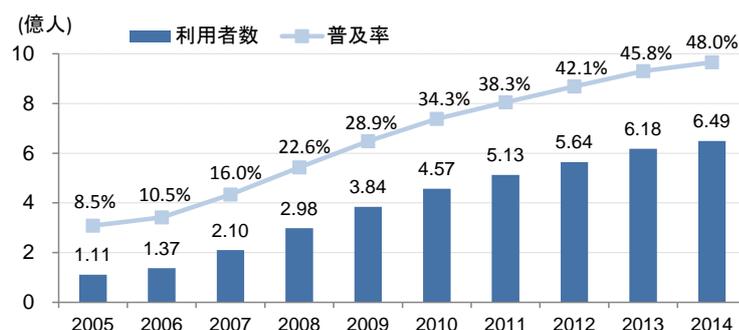


当初はインターネットを使った診察予約システムや単なるヘルスケア情報の提供が中心だったが、4G の普及に加えてモノのインターネット(IoT)、クラウドコンピューティング、ビッグデータといった技術の発展により、Web カメラを使ったオンライン診察、生活習慣病患者の遠隔見守り、電子カルテ共有、オンライン処方、医師同士のコミュニティ運営など様々なサービスが誕生している。

2. モバイルからの利用はこれから増加

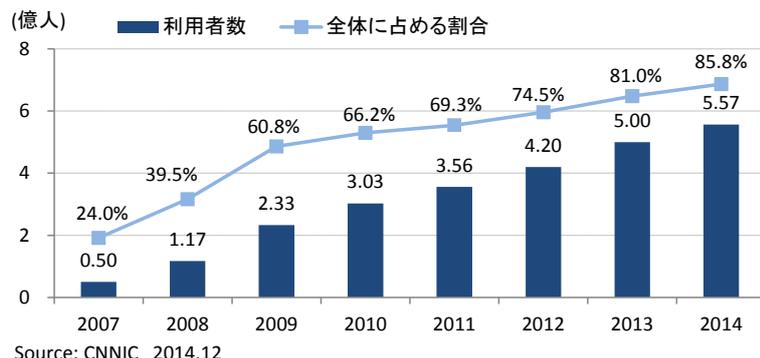
中国のインターネット利用者数は 2014 年末時点で 6.49 億人に達し、このうちモバイルインターネットの利用者は全体の 85.8%を占める 5.57 億人となっている(CNNIC 2014.12 調べ)。低価格スマートフォンの登場もあり、モバイルインターネットの利用者数は引き続き緩やかな増加を続けることが予想される。

中国のインターネット利用者数とインターネット普及率



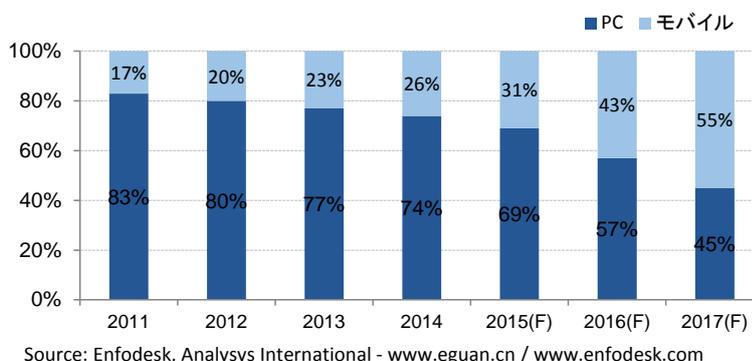
Source: CNNIC 2014.12

モバイルインターネット利用者数と全体に占める割合



モバイルインターネットの利用者増加が追い風となり、オンライン医療サービスをモバイル端末から利用する人も徐々に増加している。2014年時点ではまだPCからの利用比率が74%を占めているが、3年後の2017年にはモバイルからの利用が半数を超えると予想される。

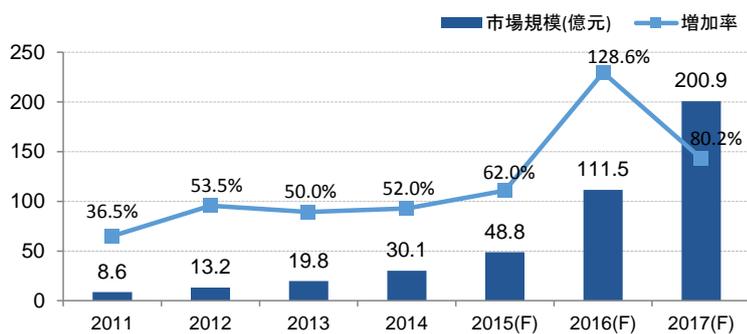
2011-2017年 オンライン医療サービスの利用端末比率



3. 成長間違いないと融資も急増

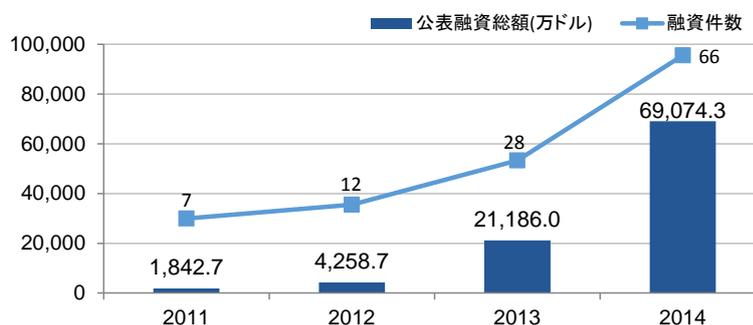
モバイル医療サービス市場は、今年にも本格的な高速成長期に突入する見通しだ。2014年時点の市場規模は30億元だったが、医療機関やITサービス事業者が続々と参入を始めており、2016年には100億元を突破、2017年には200億元を超えるとの予測もある。同分野への融資件数も2011年以降ほぼ2倍のペースで増えており、融資金額は2011年から3年でおよそ40倍に膨れ上がっている状況だ。

2011-2017年 モバイル医療サービス市場規模



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

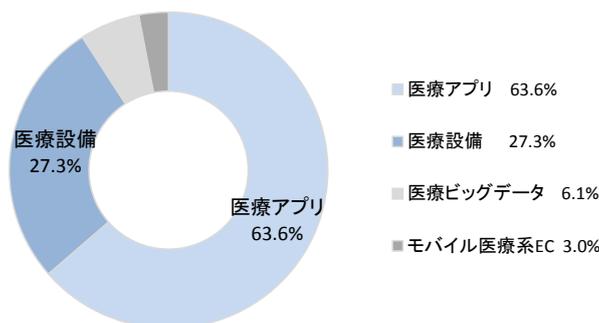
2011-2014年 モバイル医療サービスへの融資規模



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

投資分野別にみると、モバイル端末向けの医療アプリが全体の6割以上を占めており、続いて医療設備がおよそ3割となっている。医療設備の具体的な内容は不明だが、電子カルテやモバイル端末につないで血圧等のデータを取得する装置などが含まれるものとみられる。

2014年 モバイル医療サービスの投資比率(分野別)



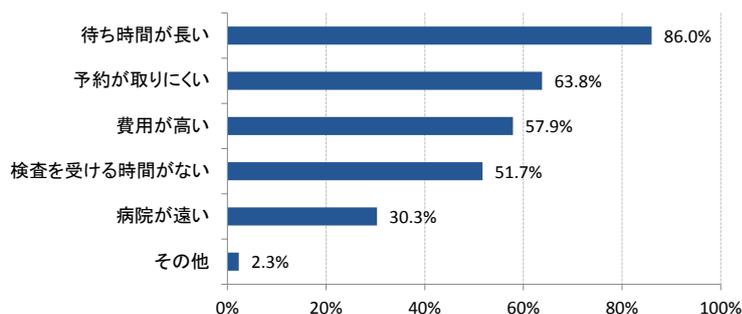
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

最近では市場を取り巻くマクロ環境も追い風となっており、国家衛生計画生育委員会が2014年夏に発表した「医療機関のリモート医療サービス促進に関する意見(关于推进医疗机构远程医疗服务的意见)」をはじめ、高齢人口の増加と健康意識の高まり、豊かになった内陸部や農村地域の医療ニーズの増加、クラウド技術の発展、4G通信料の値下げなどが市場の成長を後押ししている。

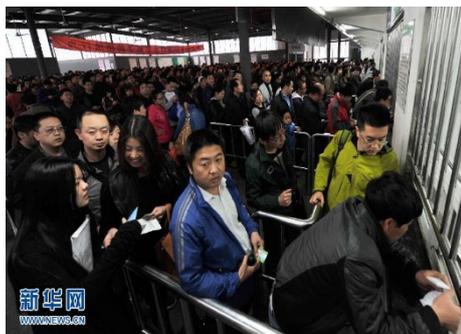
4. ユーザー動向

モバイル医療サービスが注目を集めている背景には、利用者の病院に対する不満が隠れている。病院での診察に対する不満として回答者の86%が待ち時間の長さ、63.8%が予約の取りにくさを挙げている。日本でも「3時間待って診察は3分」などと揶揄されるが、中国の病院では数日前から整理券配布の列に並び、ようやく予約を取ったものの診察までさらに待たされることもさらにある。社会保障制度が不十分で医療費が高額になりがちなこと回答者の半数以上が不満に思っているようだ。

2014年 病院での診察に対する不満・問題点



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com



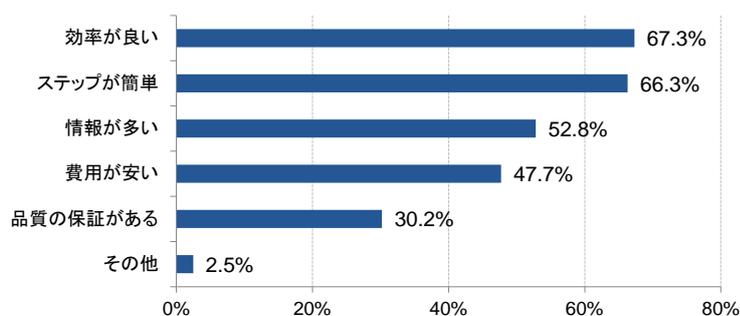
診察予約の列(北京、新華網)



小児科の点滴室の様子(北京、新華網)

逆にオンライン医療サービス(モバイル向けサービスを含む)を選んだ理由について、効率が良い、ステップが簡単、情報が多い、費用が安いといった項目に回答が集まった。信頼できる大手企業や著名な病院が運営しているサービスが多いことから、品質の保証があるとの認識を持った人も多いようだ。

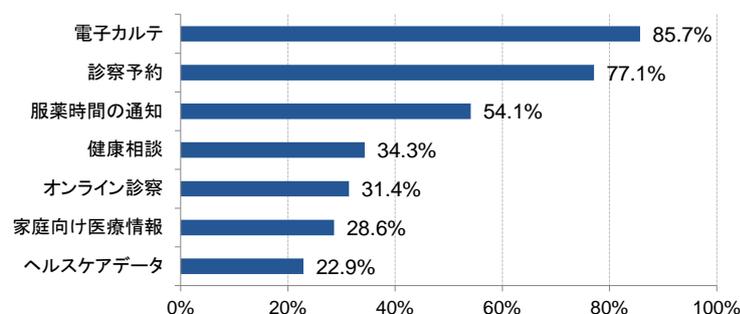
2014年 オンライン医療サービスを選んだ理由



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

また、利用したいと思う機能は電子カルテが最も多く、続いて診察予約だった。中国のほとんどの病院では、日本のようにカルテやレントゲンを預かることはなく、患者が各自持ち帰って、次の診察の際にまた持ってくるという仕組みになっている。病院ごとにカルテをもらうため、診察の記録を一元管理したい、カルテを持ち運ぶ手間をなくしたいというニーズがみえてくる。このほか、ちょっとした健康相談や家庭向けの医療情報、ヘルスケア情報といった、病院に行くまでもないが知っておきたい情報へのニーズも高いことがわかる。

2014年 オンライン医療サービスで利用したい機能

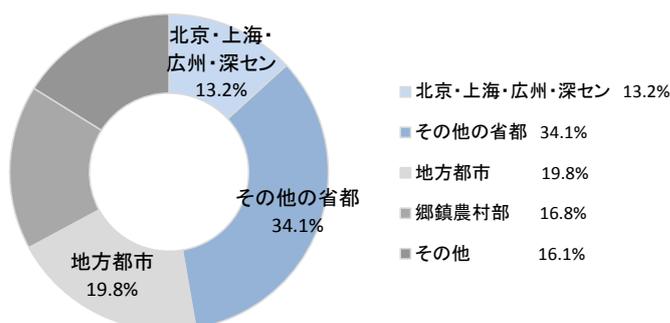


Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

5. モバイル医療サービスの利用者像とは

実際にモバイル医療サービスを利用している人には、どのような傾向があるのだろうか。居住地別でみると、北京や上海といった大都市が全体の 13.2%、その他の省都が 34.1%で、各省・自治区の中心都市に住む人がおよそ半数を占めている。スマートフォンの普及に応じて、今後地方都市や農村部に住む利用者がさらに拡大する可能性は高い。

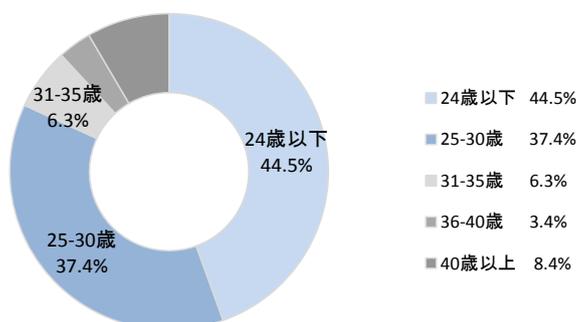
2014年 モバイル医療サービスの利用者居住地



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

年齢別でみると 24 歳以下が 44.5%、25-30 歳が 37.4%をそれぞれ占めており、スマートフォンを使いこなす若い層がモバイル医療サービスのメインユーザーであることがわかる。

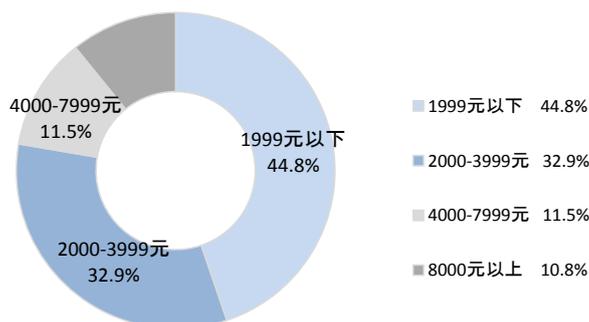
2014年 モバイル医療サービス利用者の年齢層



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

一方、月収からみると 1,999 元以下がおよそ半数で、2,000-3,999 元を含めると全体の 8 割を占める。2014 年の各都市の平均月収は、北京市が 5,826 元、上海市が 5,380 元、重慶市が 3,995 元であることから、利用者の年齢の若さが月収の低さとも関連していると推測される。

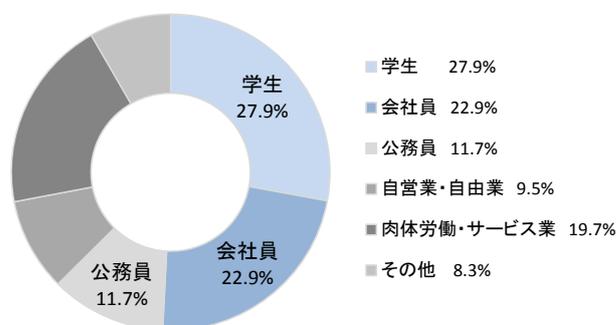
2014年 モバイル医療サービス利用者の月収



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

職業別でも比較的収入が少ないと思われる学生が 27.9%、肉体労働・サービス業が 19.7%で、合わせて全体の半数を占めている。スマートフォンを使いこなす若い層がモバイル医療サービスのメインユーザーとなっていることがわかる。

2014年 モバイル医療サービス利用者の職業



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は 2015 年 5 月 25 日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。本レポートのデータはクララオンラインのパートナーである易観国際の調査データを用いており、同社が保有する 185 万人を超えるモバイル消費者を調査対象としています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776